

八事看護専門学校「職員倫理規程」

私たちは以下の内容に留意し、日々、学生指導にあたります。

学生の安全を保障

- ・学生と、人対人として誠実に接する。
- ・学生個々の特性を理解し、学生の特性に合わせてコミュニケーションを図る。
- ・学生の行動に対し、教員が決めつけず、まずその行動の意図、理由をしっかりと聞く。
- ・学生の心理（気持ち）に配慮した言葉をかけてから、必要な助言をする。

学生の尊厳と公平性の保障

- ・学生が何に向けて努力し学ぶ必要があるのか、教授する前に予め評価基準を提示する。
- ・成長や努力の過程を認める。
- ・教員と学生の信頼関係を築くために、学生を一個人として尊重し、未熟な部分について、尊厳を損なわない対応をする。
- ・学生自身が考え、主体的に行動できるよう、意思を尊重し、思いを傾聴する姿勢で支援する。

学生の学ぶ場の提供と保障

- ・学習しやすい環境、資源の提供や活用方法を伝授する。
- ・主体性を育てるために、学ぶ意味をしっかりと伝える。
- ・学生を成人学習者として認め、一人の大人として指導していく。
- ・学ぶことが楽しいと思えるような講義・演習内容を工夫する
- ・学生自ら明確で達成可能なレベルの目標設定を行い、達成できるよう支援する。
- ・教育は「(教員の) コピーを作る」のが目的ではなく、「(学生の) 思考を育て、発展させることである」と教員自身が常に意識し関わる。

私たちは看護教員であることの責任を自覚し、以下の内容に留意し、日々、研鑽を積みみます。

- ・質の良い教育を提供するにあたり、自己研鑽を行い教員間で意識を統一し、協働する。
- ・学生と共に、教員も探究心を持ち共に学びを深める。
- ・学生が看護教員に憧れるような姿勢を持つ。